



チャリティーコンサートin秦野

ウクライナ支援

カテリーナ バンドゥーラ コンサート

第1部

- 秦野市合唱連盟コーラス
- 山本厚生講演会

映画「ラーゲリより愛を込めて」
モデルの父・山本旗男を語る

第2部

- 小澤由美ピアノ演奏
- カテリーナリサイタル



秦野市合唱連盟



山本厚生



小澤由美

ウクライナ伝統楽器
“バンドゥーラ”奏者
カテリーナ

2023年

6月11日

日 全席指定

開場 13:30 / 開演 14:00 チケット料金 2,000円

クアーズテック秦野カルチャーホール小ホール(秦野市文化会館)

チケットお求め
お問い合わせ

●クアーズテック秦野カルチャーホール
▶窓口購入(秦野市平沢82)または電話予約(0463-81-1211)

●チケットぴあ 5月25日(木)より販売

▶WEB予約… <https://t.pia.jp/> ▶店頭購入… セブンイレブン ※別途手数料がかかる場合があります
▶発券場所… セブンイレブン、ファミリーマート、直接配送等

※健康管理の意識向上のため、ご来場の際は検温のご協力を願いいたします ※未就学児の入場はご遠慮ください



〒257-0015 神奈川県秦野市平沢82 Tel 0463-81-1211

第1～第7駐車場 約850台(無料)※開場時間は異なります

主催 株タウンニュース社

出演者プロフィール



Kateryna
(カテリーナ)

ウクライナの伝統楽器
バンドゥーラ奏者・歌手

ウクライナ・プリピヤチ生まれ。6歳の時にチェルノブイリ原発で被災した子供たちで構成された音楽団「チャルボナカリーナ」に入団後、海外公演に多数参加。コンサートで来日したときに日本の素晴らしさに感動し、19歳の時に音楽活動の拠点を東京に移す。現在、日本に数少ないウクライナのバンドゥーラ奏者の一人として、ウクライナ民謡や日本歌曲を演奏し、テレビ、新聞、ラジオなど多くのメディアに取り上げられている。昨年からウクライナのために全国各地を周りチャリティーコンサート、支援活動中。年間の出演コンサート数は300本を超える。祖国のウクライナと日本の架け橋となり、平和の調べを届け続けている。2022年神奈川新聞 神戸新聞 読売新聞 東京新聞 朝日新聞 毎日新聞 The Japan times、中日新聞、FM東京、文化放送ラジオ、共同通信、NHK国際報道2022、ニュース7、日刊スポーツ、スポーツニッポン、サンケイスポーツ、スポーツ報知、中日新聞、デイリースポーツ TBS「ひるおび!」フジテレビ「めざましテレビ」インタビュー取材へ日刊スポーツ3/25発売、エンカウント3/27掲載、週刊女性4/5発売「アリス矢沢透の飲食応援団!」(渋谷クロスFM)ゲスト出演 4/20「松山千春コンサートツアー 2022」ゲスト出演(東京国際フォーラム) 5/13「ウクライナ義援金贈呈式」(東京ステーションホテル) 5/24「小林幸子はYouTuBBA!!」Youtubeチャンネル対談ゲスト出演 6/5~「森田健作 青春の勲章はくじけない心」(ニッポン放送)ゲスト出演 6/20「森田健作 もぎたて朝一番!」(FM NACK5)ゲスト出演 6/26 日刊ゲンダイ「おふくろメシ」インタビュー記事 7/2 ※日刊ゲンダイ「ボルシチを召し上がり」2022/8/16~毎週火曜、連載開始! NHK BS「黄金のヒットパレード」2022/9/24「翼をください」庄野真代共演 NHK「生中継4時間スペシャル! ニッポンの今つないでみたら」2022/9/10 Little Glee Monster共演など。

小澤 由美

ピアノ

『演奏予定曲』

ワルツ Op.42 ショパン
幻想即興曲 Op.66 ショパン
英雄ポロネーズ Op.53 ショパン

福島県出身開成町在住。東京音楽大学ピアノ専攻を経て、ショパン国立音楽大学研究科修了。2000年、いわき交響楽団定期コンサートのソリストとして共演。2004年、ヤングアーティストピアノコンクール、2台ピアノ部門全国大会第3位。同年いわき市にて、リサイタルを行う。2005年より渡欧、ポーランドで学び、ポーランド各地のコンサートに参加。2007年、パドヴァ国際コンクールピアノ部門にて、ディプロマ取得。2008年、ローゼンstock国際ピアノコンクール第3位(第1位なし)帰国後、福島県いわき市にて後進の指導にあたるとともに、福島県内や関東でリサイタルを行う他、ピアノ講座のモデル演奏や、ピアノコンクールの審査員を務める。また、演劇の伴奏や、3.11追悼式典の合唱伴奏といった伴奏活動を行う。古河歌織氏とDuo Miilionを結成し、Duoコンサート他、小学校やケアハウスでの演奏会、舞台芸術講座のモデルなどの活動を行っている。これまでに、江尻ひとみ、西川美知子、中西誠、B.カヴァッラ、J.シフィトリック、須田真美子、横山幸雄各氏に師事。



山本 厚生

秦野市在住、建築家
映画『ラーゲリより愛を込めて』の
モデル・山本旗男さんの次男

1938年生まれ。秦野市在住。2022年公開の映画『ラーゲリより愛を込めて』(原作は『収容所(ラーゲリ)から来た遺書』(辺見じゅん著・文藝春秋刊))の主人公・山本旗男の次男。遺書を受け取った1人として、現在、平和への思いを込め、各地で講演活動も行っている。大連生まれ。東京建築カレッジ講師、新建築家技術者集団代表幹事、一級建築士。東京芸大・建築科を卒業し増沢洵の事務所に10年、中央設計(15年)を経て、1988年に生活建築研究所を設立し現在に至る。その大半を住宅設計に専念し、300を越す家族の住まいづくりにかかわる。家族が暮らしを見直し、共感し合ってつくる自分たちの生き方にふさわしい住まいの実現に力を尽している。著書に『ひと裁ち折りと山本厚生の世界一折って、切って、開く、平和への願い』(萌文社刊)ほか。



秦野市合唱連盟

『合唱予定曲』
花はどこへ行った
おお丹沢はみどり
丹沢讃歌

1983年創立、第1回合唱祭を5団体で開催する。現在、加盟団体は10団体で構成しており、公募団体と共に毎年合唱祭を開催している。創立当初は、活動の成果と一緒に発表したいとの素朴な目的からだったが、回を重ねるごとに勉強会の意味合いを深くし、著名な講師を招いて講評をいただくほか招待団体の特別演奏や合唱講習会を企画しレベルの向上を図っている。合唱祭以外の活動では、市主催「丹沢山開き式」や市主導「丹沢音楽祭」のほか、市制施行記念行事や2010年県主催「第61回全国植樹祭」、2013年「第19回報徳サミット秦野市大会」等への参加協力を行ってきており、地元に根ざした合唱活動を通して地域に貢献し多くの人の心を豊かにすることを目的としており、一方で青少年及び一般合唱団のコンサートや音楽活動に協力支援を行いその環境を維持している。～本年7月23日(日)には「第39回合唱祭」をクアーズテック秦野カルチャーホールにて開催する予定です。ぜひ市民の方々に来場、鑑賞していただきたいです!～